

笑顔

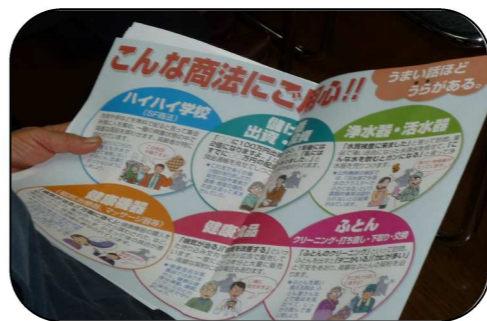
第7号

平成21年4月

熊本市中央4地域包括支援センター
やすらぎの森
熊本市渡鹿5丁目1番37号
電話:096-375-1412
E-mail:forest@kyouninkai.jp
http://www.kyouninkai.jp/forest/

「家族介護者教室」開催中!

去る平成二十一年二月四日、渡鹿団地集会所「鹿の家」にて、平成二十年度第五回目の「家族介護者教室」を開催しました。今回は、『悪徳商法から高齢者を守るために』をテーマに熊本県消費生活センターより御講話いただきました。先に医療法人清和会健康増進室（歩っ歩ちゃん一室）から悪徳商法に関する寸劇もありました。参加者の皆様も身近な問題でもあるようで興味深く聞かれていました。最後の質疑応答も活発な意見交換がきかれていました。



地域の

お助け隊



今回は、『ほっかほっか亭 保田窪店』さんを紹介いたします！
保田窪入り口バス停近くにあり、お店の周りは文教区でもあり、住宅・団地も多く若い利用者のほか、高齢の方も多いと聞いております。
ある高齢の方で、体調の悪い時にお弁当を買に行かれ、それ以降その方の自宅へ配達を続けておられます。訪問時はこまめに声かけをしながら、体調変化などは連絡のやりとりをしている担当ケアマネさんへ情報提供されるなど、細かい気遣いをされているお店です。



★編集後記★

新年度を迎え、外部評価で指摘頂いた「広報」活動を含め、私達包括職員も心新たに、日々の業務に取り組んで行きたいと思っています。

今回は包括の主要な業務の一つである「介護予防事業」の中の、「口腔」(口の健康守り隊)の活動について特集しました。身体の健康はまず、口の健康から。正しい知識を持ち、早めの対策が必要です。

今回原稿をお寄せいただいた各種団体の方に、御礼申し上げます。

藤田 紀子



地域包括支援センター自己評価及び外部評価が終わって

熊本市からの委託で活動を開始した地域包括支援センターも、今年の四月で四年目がスタートします。それに先立ち熊本市では全包括支援センターの評価を実施しました。それには自己評価・外部評価・保健福祉センター長評価がありました。その外部評価では、当包括支援センターの地域運営協議会委員の方々数名も参加されました。その結果は、おかげさまで高い評価を頂きました。

そこで今回は、地域運営協議会の委員をお願いしています熊本学園大学社会福祉学部教授の宮北様に、当包括支援センターの三年間の活動を振り返り、コメントをいただきましたのでご紹介させていただきます。

(那須久史)

宮北隆志委員(熊本学園大学教授)

地域包括支援センターとして、「目標設定シート」による事業の進捗状況の把握が確実になされており、事業が着実に地域に浸透すると同時に、スタッフのスキルアップもなされていると思います。今後は、地域が抱える様々な課題を明らかにし解決するという視点と同時に、地域に暮らす人々がどんな暮らしをしたいのか、病気や障害と向き合いつつも、どうすれば自分らしい暮らしが出来るのか、という視点を地区住民と共有し、「この地域で暮らし続けたい」と、誰もが思うことの出来る地域をつくるための、「支援的な環境づくり」の牽引役としての役割を果たして欲しいと思います。

《地域運営協議会

委員の皆様》



橋口英夫様



左から、濱和子様・宮北隆志様・谷口恭彦様・福山敬士様・磯邊ミチヨ様・矢野道弘様

月日 曜日 (日)

『お知らせ』
五月七日(木)夜七時
五十四分～八時まで、
KAB「あっと!くまもと」に「やすらぎの森」
が出演します。ぜひ、皆
さん見て下さ〜い!



お口の健康守りたい 隊員について

今年度中央保健福祉センターではNPOのスポーツ支援団体と協働で、「高齢者の口の健康を基盤として健康づくり支援事業」を推進しています。この事業は楽しいゲームをして口の健康度アップや生活の質のアップを図るものです。口の健康から全身の健康づくりに繋がるゲームの指導を行なうのが「お口の健康守りたい 隊員」です。1日研修を受け、後に地域での実践を経て隊員となります。楽しいゲームで健康づくりにチャレンジしませんか？

熊本市中央保健福祉センター
所長補佐 吉良直子

※（お申し込みについては、
中央保健福祉センター歯科まで）

テレビ放映も
ありました。



吉良様・福島様

「口」は、食べる、息をする、話す、歌う、表情を豊かにするなど、元気に自分らしくいきいきと生活するために大切です。また、口腔ケアを実施すると口の中の細菌数が減少して、肺炎の発症者率や発熱の発生者率が低下したとの報告もあります。口の健康づくりのためのプログラムを、日常生活の中ではじめましょう！

I O Bスポーツ推進事業団
理事長 福島貴志



熊本市8020健康づくりの会

会長 福山敬士

熊本市の平成20年度市民協働モデル事業で「お口の健康守り隊必携マニュアル」が完成しました。お口の運動機能アップで全身の健康づくりをしようというものです。

咽に詰まった餅などを自力で吐き出す力を養ったり、高齢者の死亡原因に多い「誤嚥性肺炎」を防止するため、食べ物などを間違えて気管に入れないようにするには適切な訓練が必要です。

歯っぴーかむカムひごまる体操やストローを使ったゲームを組み合わせることで、楽しみながら知らず知らずの内に、健康増進を達成しようとするものです。多くの方が「お口の健康守り隊」隊員になって各サロン等で普及させていただきたいと思います。

お口の健康守り隊
必携マニュアル



お口の健康守り隊

（熊本市における口腔機能向上の
取り組みについて今回ご紹介します！）



昨今の安全・安心を脅かす様々な事件が起こる中、お客様の要望は、ますます強くなっております。食に携わるものとして、常にお客様の声に耳を傾け、「安心」「安全」「本物」であることを貫き、「健康」と「感動」を「食」を通じてお届けすることを目指しております。そのためには、毎日頂く食べ物の効能を理解し、どう食べれば更に効果に結びつける事が出来るかを知ることが必要かと思ひます。

今回の『歯っぴーかむカムひごまる弁当』には、特に効能に結びつく「噛む」行為に重点を於いて提案させて頂きました。<知る>のと<知らない>とでは、効能に大きな差が生まれると思ひます。ぜひ8020運動を目指して、健康で明るく楽しい人生をお過ごし下さい。

有限会社 杉ノ子
代表取締役社長 竹光洋雄



～噛んでハッピー！良いことづくし！！～

‘歯を大切にすることは、頭も体も心も強くし健康維持につながる’そして、‘しっかり、よく噛む’ことから考える<食育>の観点からお作りしたのが、この「歯っぴーかむカムひごまる弁当」です。

ゆっくりカメ（亀）ば、素材の味も命も感じる・わかる

食の命を私たちが頂き、命があること・・・お伝えし続け、健康人工リアを拡張します。

株式会社 亀井ランチ
取締役 亀井純子

